

【13】 ^{すぎきかいがん} 州崎海岸

1. 概要

州崎海岸（別名：野蒜海岸）は、県立自然公園松島及び特別名勝松島内に位置し、鳴瀬川右岸河口から松島湾までの南北約 2.9 km にわたって延びる砂浜海岸である。

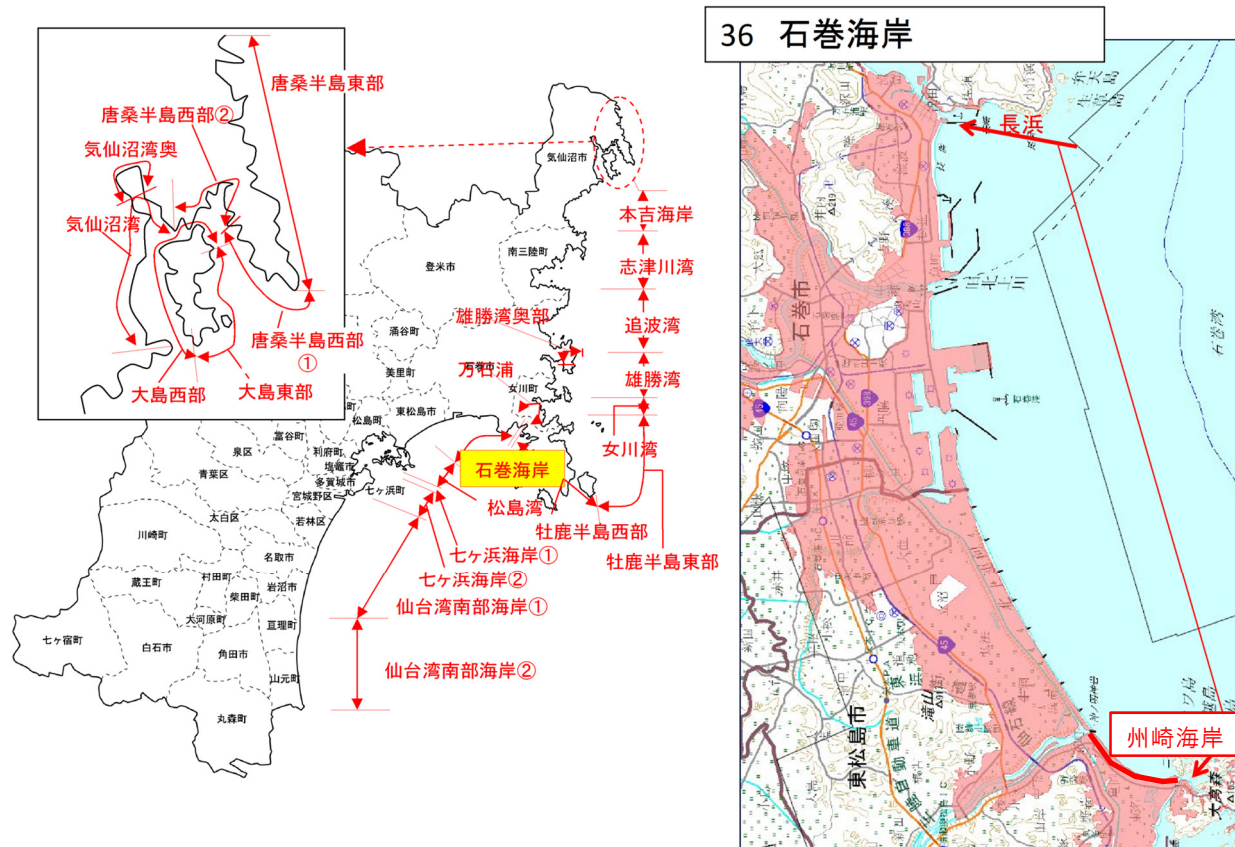


図 4-13-1 位置図【州崎海岸】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

震災以前、州崎海岸は海水浴場としても利用され、海岸林とその背後に野蒜地区の集落が広がっていた。しかしながら、地震による津波により、海岸堤防は全域にわたって被災し、その背後の海岸林及び内陸部の集落まで甚大な被害を受けた。

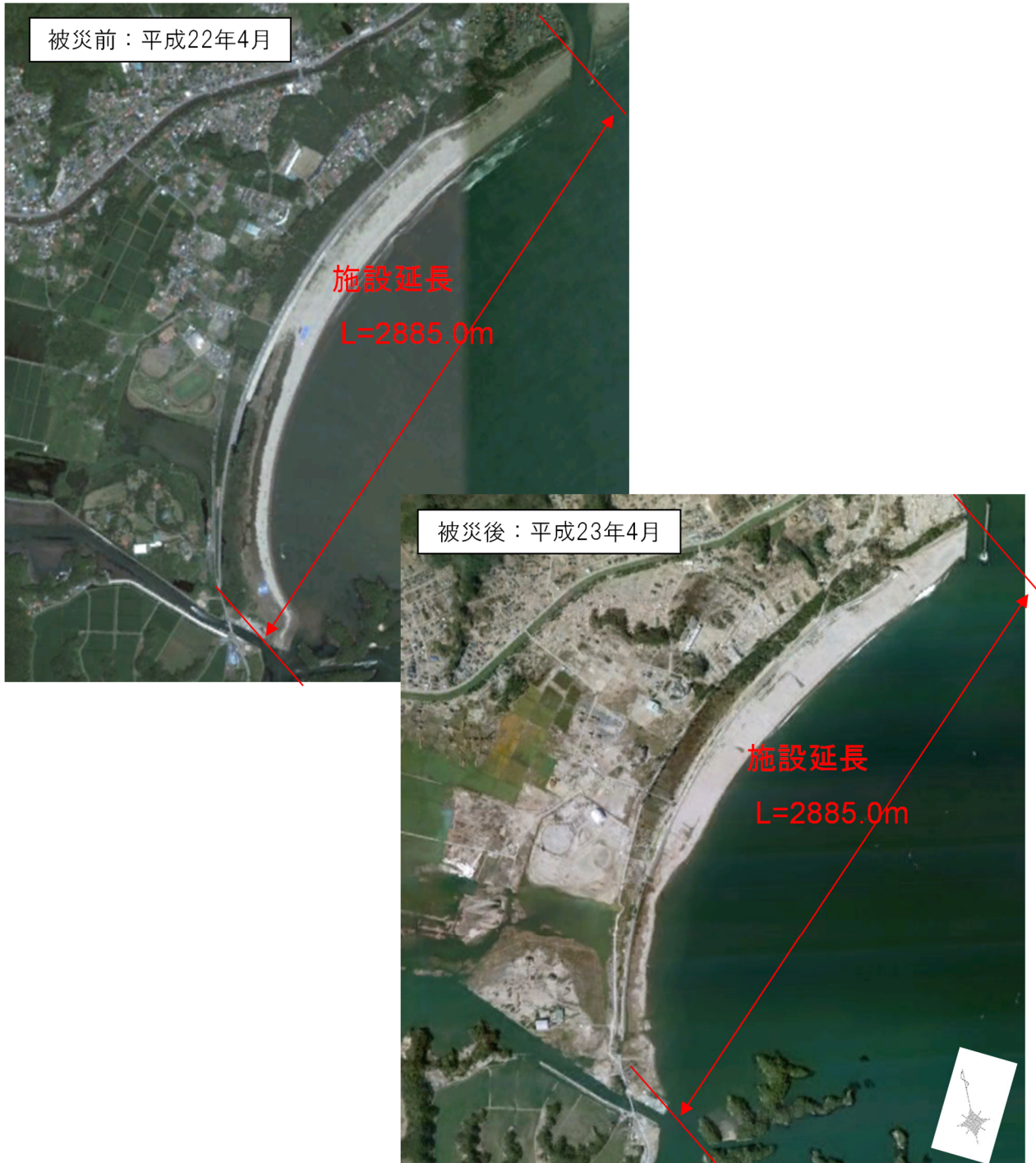


図 4-13-2 震災前後の州崎海岸の状況【州崎海岸】

(2) 被災状況

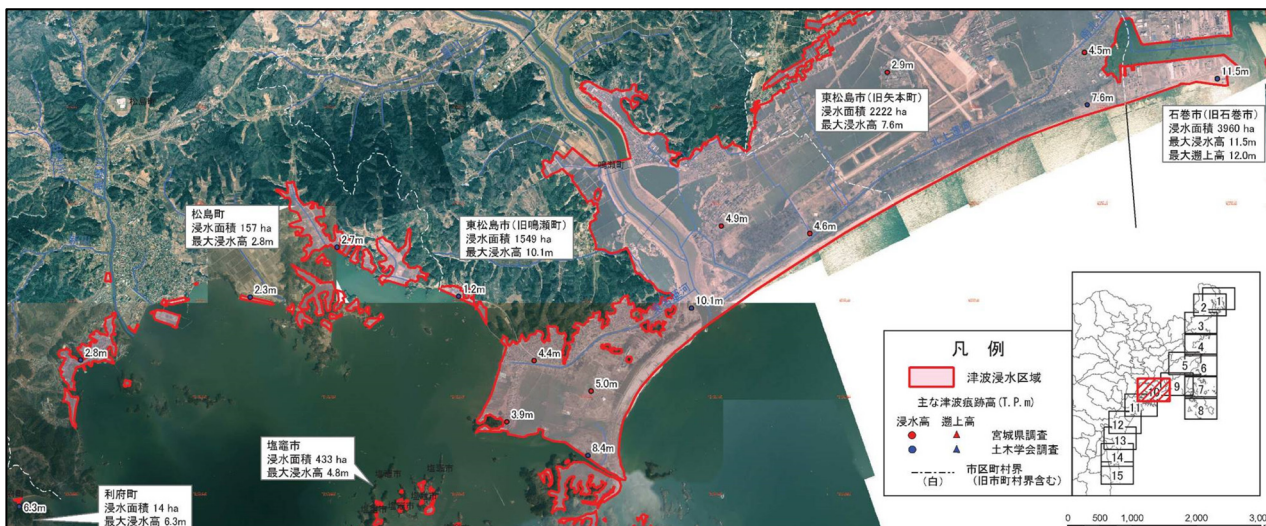


図 4-13-3 津波による浸水状況【州崎海岸】

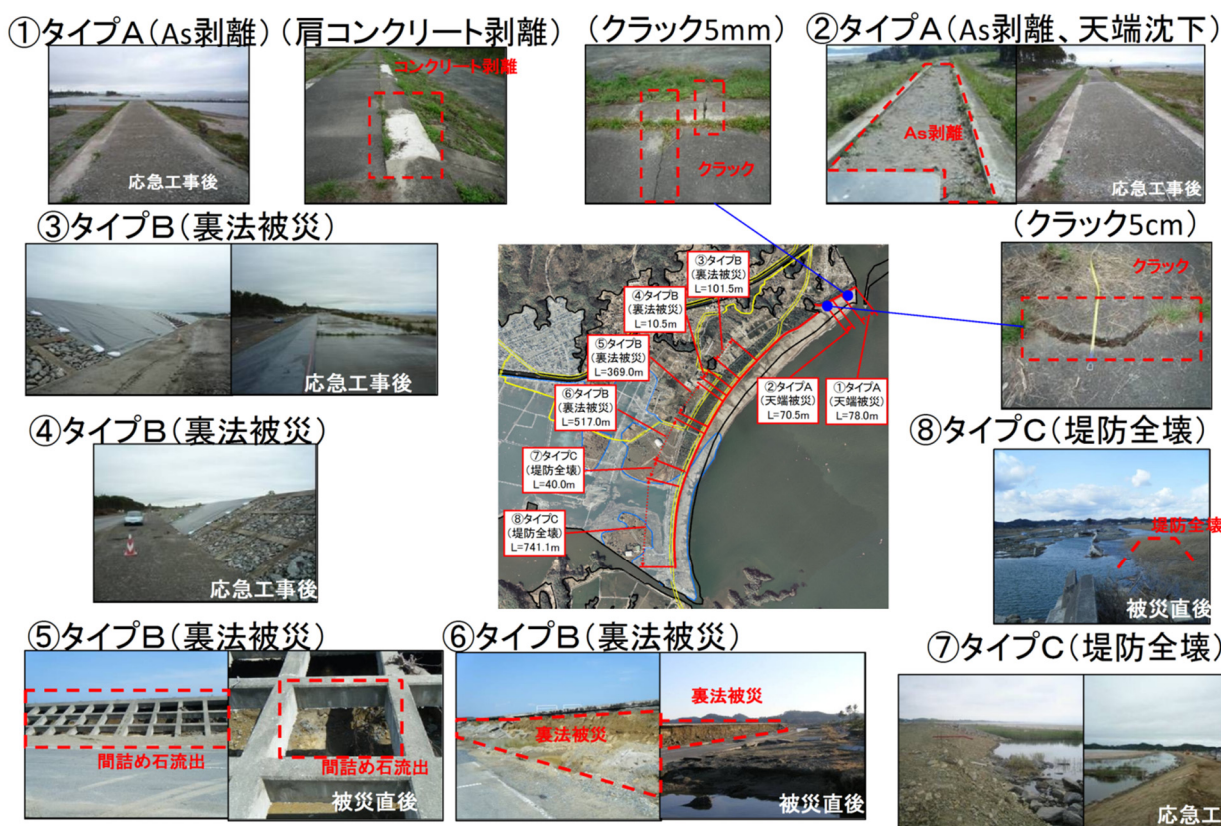


図 4-13-4 被災状況【州崎海岸】

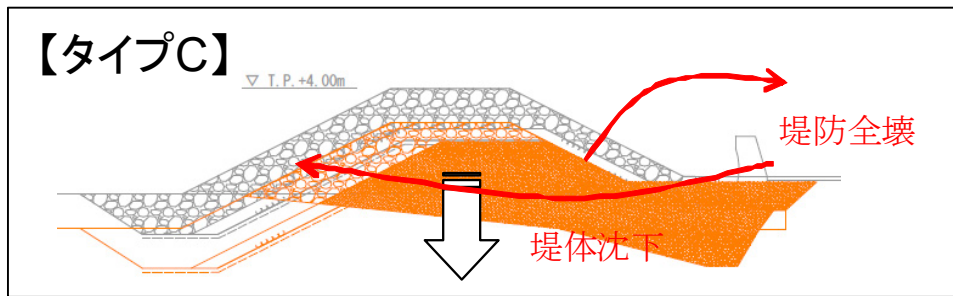
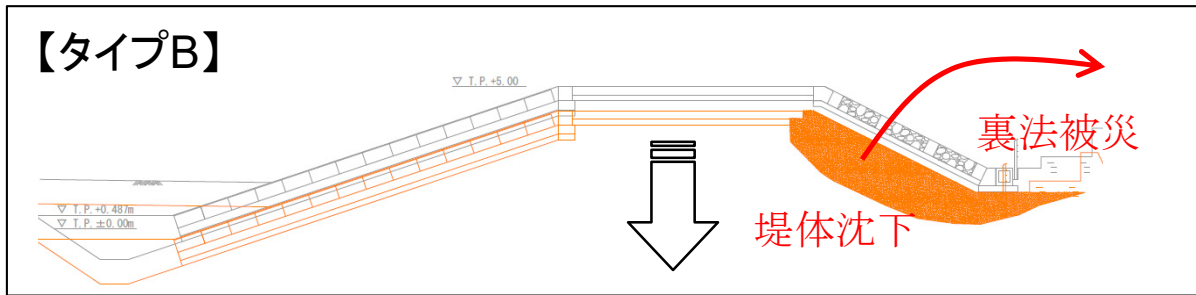
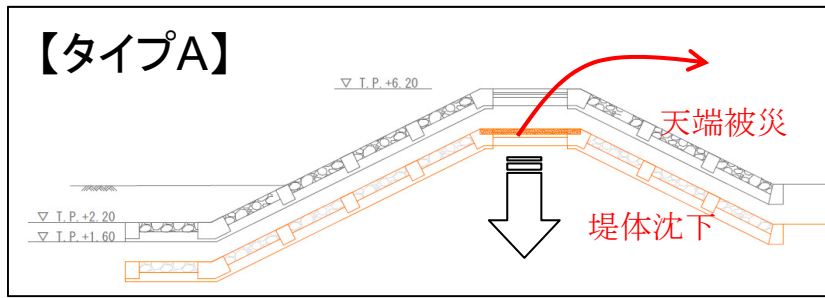


図 4-13-5 被災形態【州崎海岸】

3. 復旧計画

(1) 復旧方針

- ・ 堤防背後地には、宅地、主要幹線（県道）が存在することから、L1 津波（高潮）に対応した整備（T.P.+7.2m）とする。
- ・ 基礎地盤に砂質土が含まれるが、解析の結果、沈下後の堤防高は照査外水位を下回らないため、液状化対策は不要。
- ・ N0.7+125m～終点までの範囲については軟弱地盤であり、圧密沈下対策が必要となるため、地盤改良を行う。
- ・ 安定計算の結果、法勾配は表のり 1 : 3.0、裏のり 1 : 2.0 とする。
- ・ 特別名勝松島に位置しているため、景観に配慮する。
- ・ 海水浴場として利用されており、砂浜の確保・利用に配慮する。

(2) 工事概要

- ・ 復旧延長 L=2,886.0m

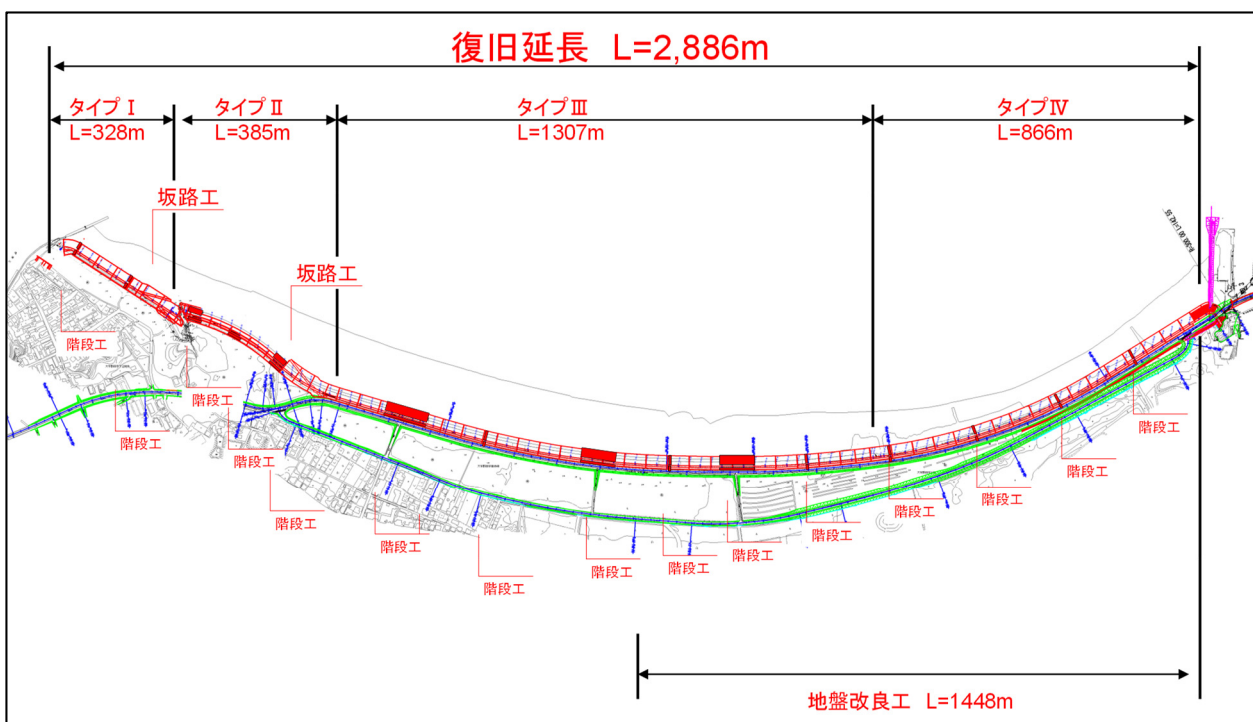
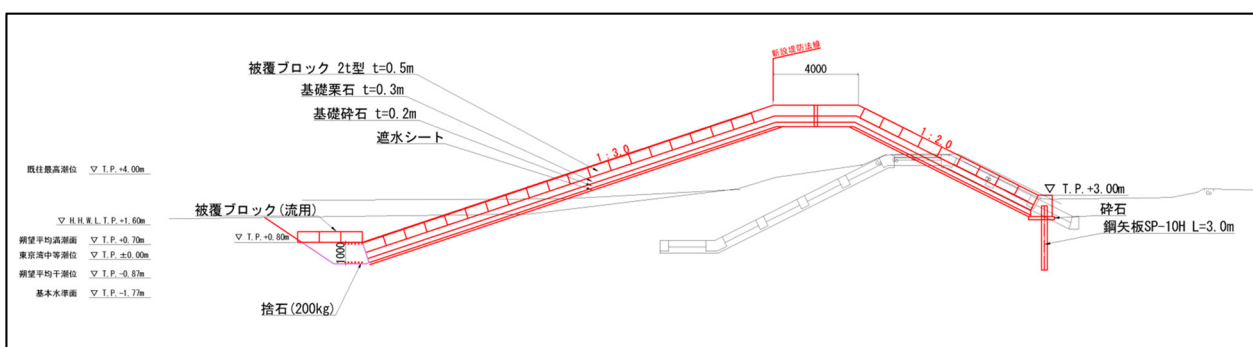
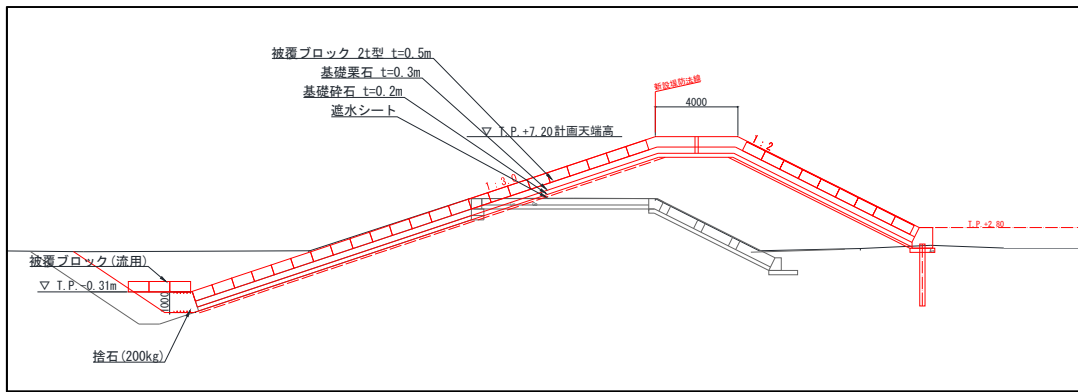


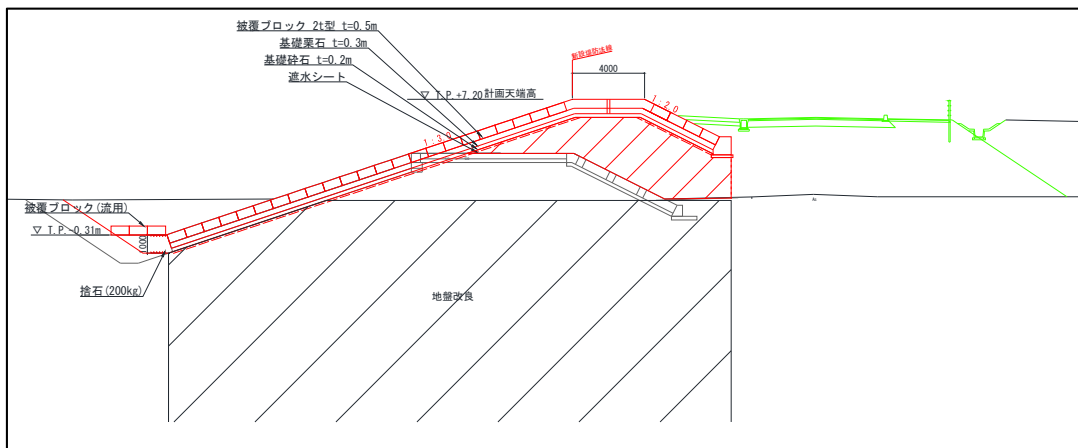
図 4-13-6 復旧計画平面図【州崎海岸】



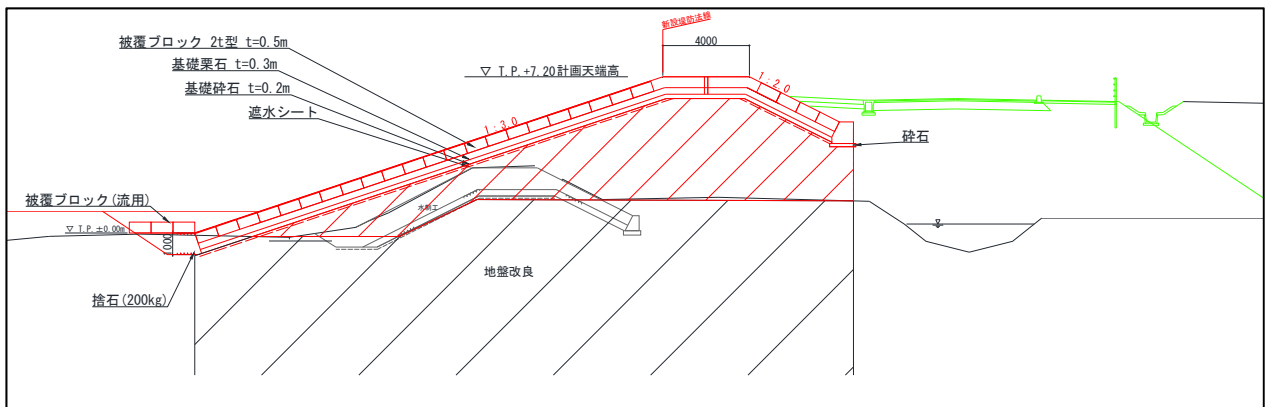
標準断面図（タイプ I）



標準断面図 (タイプⅡ)



標準断面図 (タイプⅢ)



標準断面図 (タイプⅣ)

図 4-13-7 標準断面図【州崎海岸】

4.環境現況調査

(1) 調査実施状況

表 4-13-1 調査時期一覧【州崎海岸】

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
植物	-	-	春・夏	夏・秋	春・夏	夏・秋	夏・秋	春・夏
昆虫類	-	-	春・夏	夏・秋	春・夏	夏・秋	夏・秋	春・夏
底生動物	-	-	夏	夏・秋	春・夏	夏・秋	春・夏・秋	春・夏

(2) 調査結果（海岸及びその周辺で確認された種及び重要種生息・生育状況）

調査実施期間中における、各項目の確認種数を以下に示す。

表 4-13-2 調査結果概要【州崎海岸】

項目	調査結果概要
植物	平成 27 年度から令和 2 年度までの調査で合計 570 種が確認された。そのうち重要種は 5 種が確認された。
昆虫類	平成 27 年度から令和 2 年度までの調査で合計 532 種が確認された。そのうち重要種は 21 種が確認された。
底生動物	平成 27 年度から令和 2 年度までの調査で合計 85 種が確認された。そのうち重要種は 6 種が確認された。



ハマニガナ



ハマナス



ヤマトマダラバッタ



スナヨコバイ



ヨシダカワザンショウガイ



スナガニ

写真 4-13-1 確認された主な動植物【州崎海岸】